

菅生社協だより

2015年12月25日発行

第5号

〔発行〕菅生地区社会福祉協議会

☑発行者 藤本幸子
☑地区社協だより編集部

心のふれあいと連帯感を深めながら、 支え合う社会を目指して



地域とのつながりの大切さ



会長 藤本幸子

昨年、前会長江國輝郎さんが突然亡くなり、その後の会長を引き継ぎました。不安の中での出発となりました。

した。その手紙を額に入れて飾っているとの声も聞いています。

又独居のお年寄りに弁当をお配りしました。朝から楽しみに待つて下さる方もたくさんいらっしゃりとても喜ばれました。

「困りごと、心配ごとのない地域」を目標とし、地域の人たちとの横のつながりを大切に、三世代ウォーキング、グラウンド・ゴルフにと、

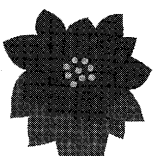
さらに、詐欺に引っかけからなために川柳を募集し、たくさん応募がありました。素晴らしい作品には表彰をしました。すこしは皆様の心に届いているのではないのでしょうか。

会員、福祉協力委員、役員の助けを借りながら頑張つて参りました。特に八十歳以上のお年寄りに、幼稚園児、小学生達の手紙を添えて、声掛け、見守り活動は、

地区社協は歩き始めて4年半、まだまだ課題はたくさんありますが、少しずつ前に進んで行きたいと思つています。これからも役員一同頑張ります。

多くの人に喜ばれま

皆様のご協力を宜しくお願いいたします。



平成27年度 福祉講演会

手作りミュージカル「ドラネコ座」

アイシャイン アイシャドウ
『哀 shine 愛 shadow』

～もう一人の私へ～

素晴らしかったミュージカル！

ドラネコ座は、岡山市公民館のクラブ講座として誕生し、構成・作詞作曲・振り付・演出・衣装・小道具に至るまですべてがメンバーによる手づくりです。ピアノも迫力ある生演奏でコーラス・ハーモニー・ダンスも生き生きと演じて素晴らしいものでした。



〈あらすじ〉

55歳の景山英治は、失業という人生初めての挫折を味わうことになった。体裁や責任にしばられる英治の前に、もう一人の影、英治が姿を現し弱音や愚痴をはき続ける。そんな時、同窓会で刺激を受けた妻・昌子は、夫に役割交代を提案する。そして、一人娘未来に問かける影の声。認知症で同居を始めた祖父・一郎の探し物。祖父・一郎を家族や地域の人たちが暖かく見守る。景山家一家がそれぞれ自らの光と影に向き合い葛藤し、地域の人たちに支えられて、新たな自分に気づき、向かっていく物語です。

鑑賞後のアンケートの中から、いくつか掲載させていただきます。

◎一番印象に残った場面は？

◇影の存在とのかけ合いがよかった。

◇一般家庭にある状況で認知症のお年寄りに対して家族愛が感じられた。

◇最後（クライマックス）の全員の歌（コーラス）の場面と歌。

◇みんなが役になりきって生き生きと演じていた。

◎ご意見・ご感想・印象に残ったシーンは？

◇初めてのミュージカルを観たのでとても面白かった。しっかり人の話を聞くことの大切さがわかった。

◇想像以上のすばらしさ。歌、踊り、芝居すべてすばらしかった。ストーリーも大変わかりやすく、おもしろかった。もっとたくさんの人に見てほしかったと思います。

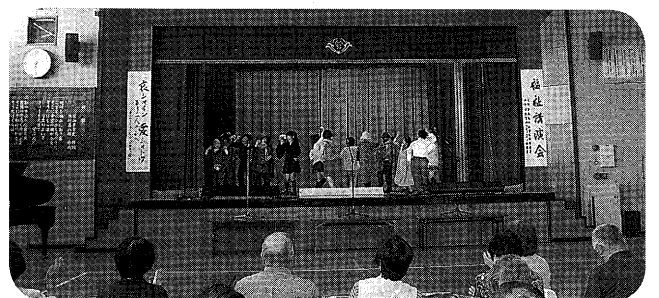
◇身近な今の問題を大変美しいコーラス・ハーモニーでやさしく歌っていただいた。素晴らしいミュージカルでした。

三世代の問題をわかり易くとりあげ、観客の気持ちを飽きさせない展開でした。どの世代にも心に響き、また、考えていかなければならない内容だと思います。

願わくば、もっと多くの人たちに観てもらえたらよかったです。

早くから様々な準備にご協力して下さった先生方・関係者の方々に感謝いたします。

菅生地区社会福祉協議会
副会長 村上 恵子



平成27年度 事業計画書

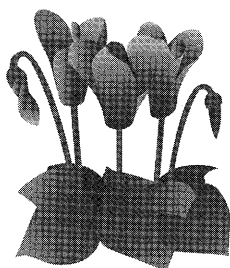
- 1 会議
 - 総会 理事会 役員会
- 2 年間事業
 - (1) 第22回ふれあい体育祭
 - 学区民の心のふれあいと連帯感の深化
 - (2) 第16回コミュニティまつり
 - 学区内の各種団体の活動紹介と健康チェック
 - (3) 学区小地域ケア会議
 - 地域に即した高齢者等の支援体制の調整と推進
 - (4) 機関誌の発行(第5号)
 - (5) 市社会福祉協議会への協力
 - (6) 高齢者友愛訪問
 - 65歳以上の独居高齢者等への声掛け、見守り
- 3 福祉協力委員の活動促進と連携
- 4 菅生地区社会福祉協議会メニュー事業
 - (1) 歳末たすけあい活動
 - お飾りづくり、75歳以上の高齢者に弁当配布と食事会
 - (2) 福祉講演会、ボランティア講座等の開催
 - (3) 福祉講演会の開催
 - 住民同士の交流活動
 - (4) 三世代いきいきウォーキング、三世代ペタンク大会
 - (5) 住民同士の交流活動
 - ふれあい体育祭、グラウンド・ゴルフ交歓大会
- 4 その他
 - 要支援者に対する見守り・支え合い活動
 - 80歳以上の高齢者への声掛け、見守り等の訪問活動

平成27年度 収支予算書

| (支出) 単位：円 | | | (収入) 単位：円 | | |
|-----------|-----------|---------|-----------|---------|-------------|
| 科目 | 予算額 | 摘要 | 科目 | 予算額 | 摘要 |
| 事務費 | 240,000 | | 助成金 | 485,000 | 市社会福祉協議会から |
| 内訳 | 印刷費 | 160,000 | 一律助成金 | 80,000 | |
| | 通信費 | 20,000 | 運営助成金 | 162,000 | 社協会費実績の20% |
| | 消耗品費 | 30,000 | 福祉活動助成金 | 93,000 | 共同募金実績の10% |
| | 会議費 | 30,000 | メニュー事業 | 150,000 | 5メニュー事業 |
| 事業費 | 290,000 | | 活動費 | 30,000 | コミュニティ協議会から |
| 内訳 | 歳末たすけあい活動 | 30,000 | 事業収入 | 0 | |
| | 福祉講演会の開催 | 45,000 | 雑収入 | 100 | 利息等 |
| | 住民同士の交流活動 | 45,000 | 繰越金 | 102,407 | 平成26年度から |
| | 住民同士の交流活動 | 85,000 | 計 | 617,507 | |
| 要支援者訪問活動 | 85,000 | | | | |
| 予備費 | 87,507 | | | | |
| 計 | 617,507 | | | | |

菅生地区社会福祉協議会役員名簿

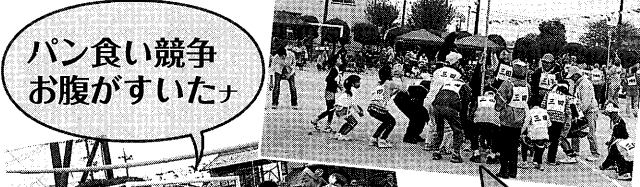
- | | | |
|-----|-------|----------------|
| 会 長 | 藤本 幸子 | 愛育委員会会長 |
| 副会長 | 江國 耕輔 | コミュニティ協議会会長 |
| 〃 | 小山紀美子 | 民生・児童委員協議会会長 |
| 〃 | 山内 宣夫 | 菅生地区保護司 |
| 〃 | 村上 恵子 | コミュニティ女性部(桃花会) |
| 庶務 | 貝原 速雄 | 民生・児童委員協議会副会長 |
| 〃 | 赤場 重美 | 前下西坂公民館会長 |
| 会計 | 光畑久美子 | 青少年を育てる会菅生支部長 |
| 理事 | 山地 佳雄 | 三田町内会長 |
| 〃 | 山縣 暁 | 青江宮前町内会長 |
| 〃 | 木曾 福一 | 老人会連合会会長 |
| 〃 | 西田由美子 | 交通安全母の会会長 |
| 〃 | 津島 敏雄 | 交通警察協助力員 |
| 〃 | 守安 瑞穂 | 北中学校PTA会長 |
| 〃 | 間野 文章 | 菅生小学校PTA会長 |
| 〃 | 貝原 華奈 | 菅生幼稚園PTA会長 |
| 〃 | 森岡 輝行 | 浅原第六組合町内会長 |
| 〃 | 前原 明 | 生坂公民館長 |
| 監事 | | |



ふれあい 体育祭



運動会開会式



パン食い競争
お腹がすいた+



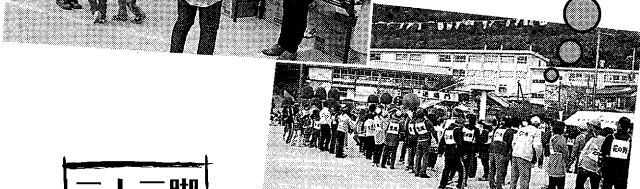
赤も白も
ガンバレ!



お疲れ様
大きく育ってネ



玉送り
落とさないように



三人三脚



息を合わせて
レッツゴー

高齢者生活支援センターの紹介



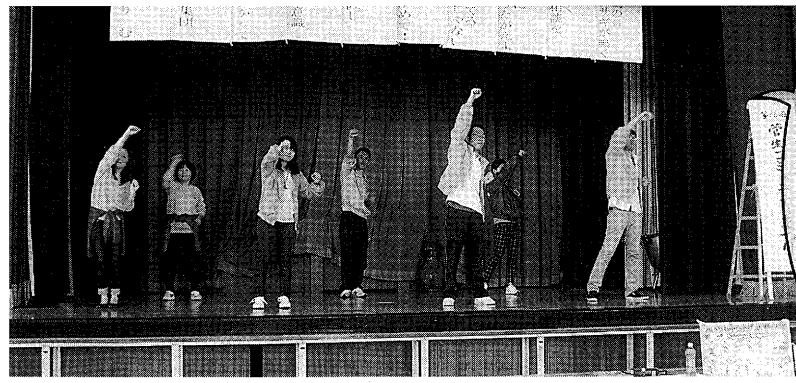
交通ルールは守ってネ!

ポップコーンも
作ったよ

おいしい試食が出来たよ~



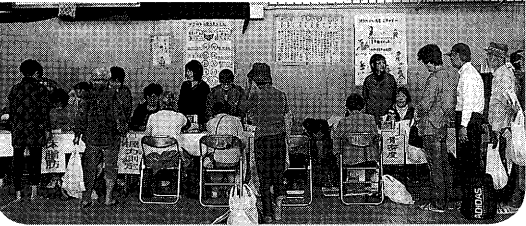
平成27年(第16回) コミュニティまつり



体操をしてカロリー
を消費しよう



今年の健康
チェックは?
どうかな?



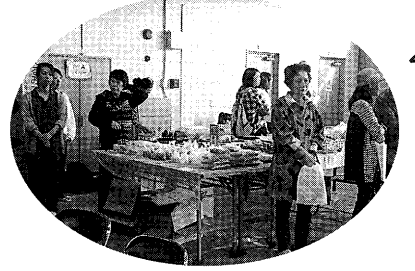
バルンアート
少しむずかしかったけど
頑張ったよ



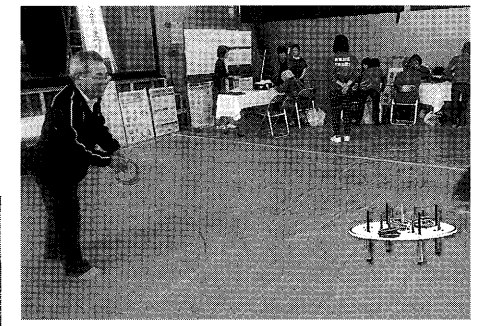
コミュニティ 女性まつり開会式



疲れたら
喫茶コーナーで



桜餅コーヤの佃煮どうぞ



お餅もあるよ

第3回菅生地区 クラウンド・ゴルフ 交歓大会を開催

菅生地区社会福祉協議会では、平成27年度のメニュー事業として、地域交流事業を計画し、この度、学区コミュニティ協議会との共催により、晴天に恵まれた10月29日(木)上西坂公園グラウンドに学区内から80人余が参加して盛大に開催することができました。

開会式では、コミュニティ協議会江國会長が挨拶をされ、この会場にいられた皆さんを見ると各地区からクラウンド・ゴルフ愛好者の方々が大勢参加して頂き、元気なお姿を拝見することができて大変ありがたいことだと喜びの言葉を頂きました。

今回で3回目の参加者も居られ、この大会を待ち望んでいたとの事、一喜一憂しながらも順調に3ゲームを行いました。

表彰式では、優勝から10位までと、特別賞として技能賞が男女各1名に授与されました。

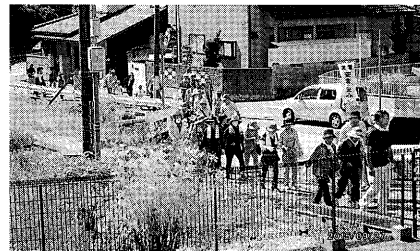
閉会には、当協議会藤本会長が挨拶され、この大会に参加された皆様の元気に感動したとの一言もあり、大会は無事終了しました。

本大会の準備から最後まで、お世話を頂きました関係者の皆様に感謝申し上げます。



菅生地区社会福祉協議会 庶務 赤場 重美

菅生学区三世代 いきいきウオーキング



9月27日、気持ちの良い秋の天気にも恵まれ103名もの皆さんにご参加を頂き、菅生学区いきいきウオーキングを開催いたしました。

高齢者の方から小学生、ベビーカーに赤ちゃんを乗せてのお母さん達まで、まさに三世代の皆さんが集まって頂き、笑顔でおしゃべりをしながら歩きました。

地域の皆さんの大切な繋がりを心から感じる事が出来てとっても嬉しく思いました。

次回も、もつともつと多くの皆さんに参加して頂けるよう老人会、子ども会、町内会等の関係者にご参加をお願いしたいと思います。

菅生学区愛育委員会 副会長 高林香代子

民生委員児童委員の活動について

菅生地区には18名の民生委員児童委員（内2名は主任児童委員）が活動しています。

民生委員児童委員（以下民生委員という）は、民生委員法（昭和23年制定）に基づき活動しています。

民生委員法の第1条には、「社会奉仕の精神をもって、常に住民の立場に立って相談に応

じ、及び必要な援助を行い、もって社会福祉の増進に努めるものとする。」と決められている。又、無給で任期は3年と決められ、守秘義務が課せられている。

第14条に、民生委員の職務が決められている。この職務を含め法の目的等を端的に、民生委員信条（昭和26年制定）に表されている。信条は、

- 1 隣人愛をもって社会福祉の増進に努めます
- 2 常に地域社会の実情の把握に努めます
- 3 誠意をもってあらゆる生活上の相談に応じ自立の援助に努めます
- 4 すべての人々と協力し明朗で健全な地域社会づくりに努めます
- 5 常に公正を旨とし人格と識見の向上に努めます

具体的な活動としては

住民からの相談（生活保護、福祉施設について等）、高齢者・障がい者・児童生徒の見守り、各機関へ提出書類の証明、社会福祉協議会事業の推進及び協力、他団体への協力等々

民生委員1人当たり年間活動日数は、129・9日（短時間の活動も1日、平成23年度全国平均）

民生委員制度は、大正6年岡山県で救世顧問制度から始まり、昭和23年民生委員として法律が制定され現在に至っている。

民生委員活動をめぐる環境が大きく変化するとともに、その活動内容はますます多岐にわたってきております。

今後とも民生委員はその重要性を理解し活動を進めたいと思っておりますので、ご理解とご協力を宜しく願いたします。

菅生地区民生委員児童委員協議会

副会長 貝原 速雄

菅生学区小地域ケア会議事務局より

第1回 菅生学区川柳大賞について

菅生学区小地域ケア会議では菅生学区にお住まいの方の中から代表者に二カ月に一回お集まりいただき、『どうすれば菅生学区が高齢者にとって住みやすい地域になるのか』といったテーマで話し合いや課題への対策を実施し、今回は菅生学区でも多数の相談が寄せられている消費者被害を防ぐにはどうすればいいかといったテーマで検討してきました。高齢者の方も「サギ」等の被害に遭っている消費者被害

は年々手口も巧妙になっており、被害に遭っている当事者はなかなか周囲に相談できないこともあり、多額のお金をだまし取られることもあります。菅生学区全体で実施できる取り組みとしてどういったことがあるかと議論を重ねた結果、被害を未然に予防できる体制を作ることが重要だという結論になりました。そこで、地域全体で消費者被害について関心を持ってもらい、一人ひとりが未然に被害を

最優秀賞

だます人 こころの隙間に はいりこむ

藤森 雅美

優秀賞

だまされて 泣くより前に うたがえよ

西川 信子

審査委員特別賞

オレ・オレに 気付いて早く 相談を

都築 公子

顔見せぬ 優しい声は サギ集団
金だ金 鶉の目 鷹の目 サギが鳴く
高めよう 井戸端会議で 防犯意識
ちよつと待て オレオレ言ってる サギじゃない
ちよつと待て 振り込む前に たしかめて！
金をくれ 電話の後は かけ直し
オレ、オレ、と かかった電話 うたがって

予防できることを目的として、菅生から「だまされる被害をなくそう」をテーマに今回の「第1回 菅生学区川柳大賞」を開催する運びとなりました。今回の川柳大賞ではこどもから高齢者、施設へ入所されている方まで幅広い世代の方が多数応募してくださり、32名の方から62句の作品を応募していただきました。

どの作品もユーモアがあったり、はつとさせられたりと素晴らしい作品ばかりだったので、応募多数となったため、小地域ケア会議委員により厳正な選考を行い、最終選考10作品を選定しました。

その最終選考10作品から最優秀賞を決めるために、11月15日(日)に菅生小学校体育館で開催された菅生コミュニティまつりにおいて、ご来場いただいた方に気に入った作品に投票していただきました。投票の後、投票結果の発表と表彰式を執り行い、小地域ケア会議の小山 紀美子会長より賞状と記念品が贈呈されました。表彰された方は皆さんとても喜んでくださいました。

応募していただいた全作品は菅生学区小地域ケア会議だよりに掲載するなどして、消費者被害の普及・啓発に活用していきます。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

倉敷北高齢者支援センター
菅生学区小地域ケア会議 篠山 寛史



平成26年度 事業報告書

- 1 会議
 総会（5月17日） 役員会（8回）
- 2 年間事業
 第21回ふれあい体育祭（11月3日）
 「学区民の心のふれあいと連帯感の深化」
 第15回コミュニティまつり（11月16日）
 「学区内の各種団体の活動紹介と健康チェック」
 学区小地域ケア会議（6回）
 「地域に即した高齢者等の支援体制の調整と推進」
 機関誌の発行（12月25日 第4号）
 市社会福祉協議会への協力（随時）
 高齢者友愛訪問（随時）
 「65歳以上の独居高齢者等への声掛け、見守り」
 福祉協力委員制度の活動促進と連携
 学区グラウンドゴルフ交歓大会（11月13日）
 営生地区社会福祉協議会メニュー事業
 福祉講演会の開催（10月4日）
 「認知機能が低下するのは当たり前その時の対応が大事」
 福祉施設との交流会（7月19日、12月13日）
 「浅原桃花園夏祭り、餅つきで入所者との交流会」
 高齢者への声掛け、見守り等の訪問活動
 （9月上中旬）
 80歳以上の高齢者宅を訪問し声掛け、見守り
 75歳以上の独居高齢者へ弁当配布と地区公民館等で食事会（10月28日、1月27日）
 三世代交流活動
 「いきいきウォーキング」（6月9日・12月14日）
 ふれあい体育祭（11月3日）
 三世代ペタンク大会（11月30日）
 お飾りづくり（12月21日）

平成26年度 収支決算書

| (支出) 単位：円 | | | (収入) 単位：円 | | | | |
|-----------|---------|---------|--------------------|---------|------------|---------|------------|
| 科目 | 決算額 | 摘要 | 科目 | 決算額 | 摘要 | | |
| 事務費 | 284,977 | | 助成金 | 484,000 | 市社会福祉協議会から | | |
| 内訳 | 印刷費 | 152,998 | 地区社協だより、コピー代等 | 内訳 | 一律助成金 | 80,000 | |
| | 通信費 | 3,884 | 切手、はがき、電話代等 | | 運営助成金 | 159,000 | 社協会費実績の20% |
| | 消耗品費 | 105,483 | 体育祭賞品、用紙、インキ代等 | | 福祉活動助成金 | 95,000 | 共同募金実績の10% |
| | 会議費 | 22,612 | 総会、役員会等の茶菓等 | | メニュー事業 | 150,000 | 5メニュー事業分 |
| 事業費 | 268,669 | 5メニュー事業 | 活動費 | 0 | | | |
| 内訳 | 福祉講演会事業 | 45,090 | 福祉講演会の開催 | 事業収入 | 0 | | |
| | 高齢者施設事業 | 48,600 | 福祉施設との交流会 | 雑収入 | 70 | 利息 | |
| | 高齢者訪問事業 | 86,252 | 高齢者への声掛け見守り訪問活動 | 繰越金 | 238,978 | | |
| | 弁当配布事業 | 31,905 | 独居高齢者への弁当配布と食事会 | 計 | 723,048 | | |
| 内訳 | 三世代交流事業 | 56,822 | ウォーキング、ペタンク、お飾りづくり | | | | |
| | 予備費 | 66,995 | 福祉協力委員懇談会、祝金等 | | | | |
| 計 | 620,641 | | | | | | |

収入 723,048 - 支出 620,641 = 102,407円 次年度繰越金とします。

編集後記

今年の、天候の変化はどうしたことでしようか。
 営生地区社会福祉協議会を立ち上げて早や5年になりました。1年ごと新しい試みやメニュー事業を考えることの難しさ、大変でした。
 しかし、振りかえれば地区の会員の方たちのご協力やご支援がなければ、前にすすみません。本当にありがとうございました。メニュー事業を、中心に活動していることに私たちは、これでいいのか……とつい考えさせられます。
 その為には、みなさま方からのご意見ご要望をお寄せ下されば幸いです。

心のほっとサポーター

1人で悩まないで!!
 聞かせてください

- ◇藤本 幸子 TEL: 462-7405
- ◇小山紀美子 TEL: 425-2547
- ◇大村 庸子 TEL: 422-2490